

うれしの



撮影者：副看護師長 井手 千佳子

Contents

新年のご挨拶	2	第54回嬉看祭を開催しました	9
新任のごあいさつ	3	第2回オープンキャンパスを開催しました	9
第77回国立病院総合医学会参加報告	4	外来担当医表	10
71回生の『誓いの式』を挙行了しました	8		

基本理念

「命と心をつなぐ医療」

「命と心をつなぐ医療」の実践には、患者の身体的苦痛を取り除くだけでなく、精神的苦痛も理解し和らげる努力が重要である。

また、患者や家族と良好な信頼関係を構築し、安心して治療を受けられる環境づくりが大切である。



新年のご挨拶

嬉野医療センター院長 力武 一久

新年あけましておめでとうございます。昨年からは、新型コロナ感染症も収束傾向ではあるものの根絶とはいかず、代わりにインフルエンザが蔓延するなど、まだまだ感染対策は気を緩めることができない状況が続いています。そんな中で新年を迎えることになりました。令和6年は、医療界では大きな変革の年となりそうです。

まずは、4月から制度化される医師の働き方改革です。医師の長時間労働の管理・制限、健康観察、タスクシフトなど取り組むことは多数あります。十分な休養を取りつつ、質の高い医療を提供すること、また、タスクシフトといいつつ、コメディカル部門への過度な“押しつけ”にならないよう十分配慮しながら進めていく必要があると考えています。

二つ目は、診療報酬改定です。世界情勢が不安定な中、材料費や光熱費・食材費の高騰で病院経営は、かつてない経営困難に陥っています。これに対し、診療報酬引き上げを実行してもらえるのか、2月ごろには概要が判明するのではないかと思います。

三つ目は、医療Dxに対する対応です。保険証付きマイナンバーカードやそれに付随する各種サービス（電子処方箋、高額医療費申請など）、医療用ロボット、患者案内サービス、さらには遠隔患者管理（ペースメーカーなどはすでに開始）などあらゆる分野でデジタル化が進みます。それに伴い設備投資も増やす必要がありますが、健全経営が大前提と考えます。さらに注意すべきはサイバーセキュリティ対策になるかと思っています。当院でも、自然災害のみならずサイバー攻撃に対する事業継続計画（BCP）を策定して、万全を期する所存です。

医療界にとっては大変革の年。この流れにいかに対応していくか、病院の管理者としても資質が問われる一年だと、自分を鼓舞しながら邁進する所存です。本年もどうぞ宜しくお願い申し上げます。最後になりましたが、皆様のご健勝とご活躍を祈念し、新年の挨拶とさせていただきます。





新任のごあいさつ



古賀 冬馬

麻酔・緩和医療科医師
出身大学 佐賀大学
平成 27 年卒

専門分野

麻酔・緩和医療科

認定医

日本麻酔科学会麻酔科認定医、
麻酔科標榜医

皆様の健やかな生活の助けになるよう尽力いたします。



西島 君耶

皮膚科医師
出身大学 久留米大学
平成 31 年卒

専門分野

一般

令和 6 年 1 月より勤務させて頂くことになりました。
自分自身の研鑽とともに、地域の医療に貢献できるよう努めていきたいと考えております。何卒よろしくお願いいたします。



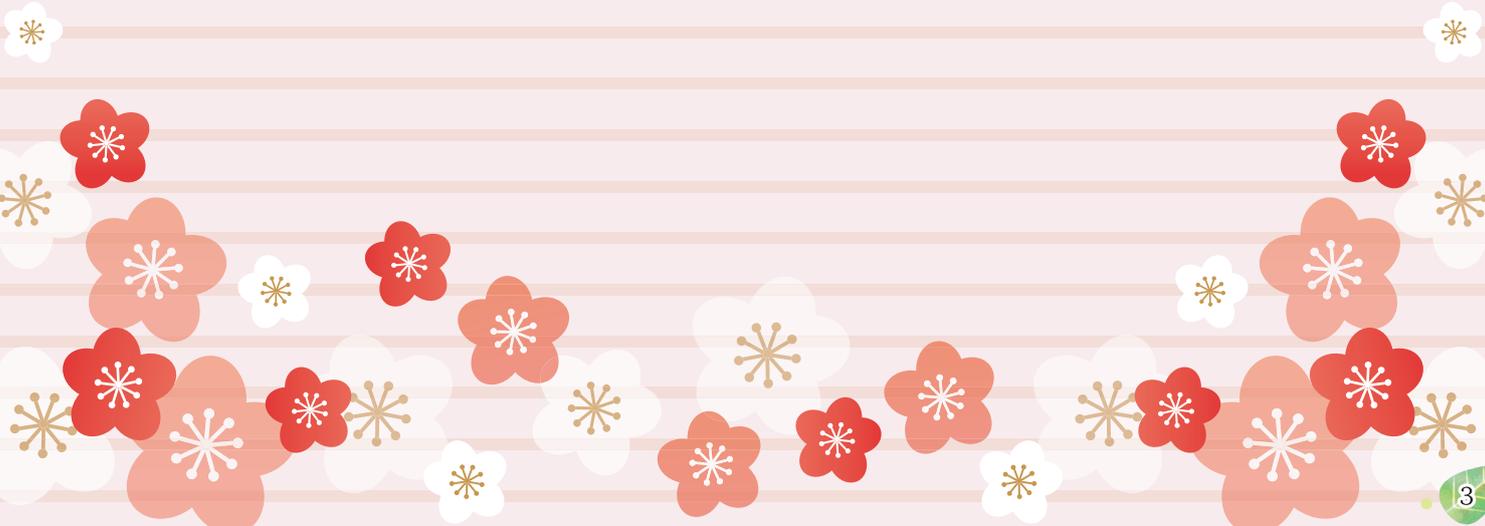
中村 啓太

麻酔・緩和医療科レジデント
出身大学 佐賀大学
令和 3 年卒

専門分野

麻酔・緩和医療科

よろしくお願いいたします。



第77回 国立病院総合医学会 参加報告

ベスト口演賞を受賞して

医療機器管理室 主任臨床工学技士 北村純一

今回第77回国立病院総合医学会において『次世代の学術集会のあり方—メタバースと参加費自己決定制導入の試み—』について発表させて頂き、光栄な事にベスト口演賞を受賞することが出来ました。今回の発表は、第15回佐賀県臨床工学技士会開催にあたり先駆的取り組みとしてメタバースでの学術集会開催と参加者自身が参加費を決定するフレキシブルな参加費設定、及び参加費事後振り込み制を導入したものです。

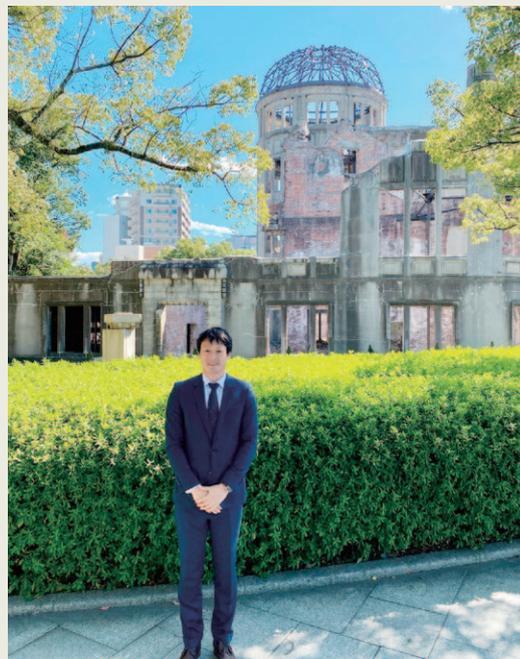
メタバースという言葉は2022年の流行語大賞にもノミネートされるほどメジャーな言葉ではあるものの、医療業界でのメタバースの活用というのはあまり聞きません。しかし、今回メタバースを導入したことで参加者の満足度が飛躍的に向上し、県内だけではなく全国から多数参加をいただきました。また、参加費を参加者自身が決定出来る事で、学会内容と参加費との乖離を縮める事にも貢献でき、満足度が高い学会となりました。

口演の質疑応答では、多くの方に興味を持っていただいたためか、たくさんのご質問をいただきました。発表後は、質問できなかった方々と名刺交換をさせていただき、「導入してみたい」等の意見や、他学会での講演依頼など、反響が大きく、成功裏に終えることが出来ました。

私自身、久しぶりの現地開催での発表であったため、学会会場の緊張した空気感を体感でき、他施設の方との交流もできました。また、会場の目の前には世界遺産にも登録されている原爆ドームが徒歩圏内にあり、空き時間に初めて訪れることが出来ました。歴史的に重要な場所でもあり、訪れると深い感銘を受けました。

広島名物のお好み焼き・牡蠣・ステーキなど、美味しい食事も堪能でき、学術の分野でも勉強になることが多く、とても有意義な医学会となりました。

学会に参加させていただくにあたり、病院をはじめ同部署のスタッフにはご迷惑をおかけしましたが、そのおかげでベスト口演賞を受賞することが出来たことをお知らせし、感謝したいと思います。本当にありがとうございました。



ベストポスター賞を受賞して

5西レディース病棟 公文琴乃 松尾優林

この度、国立病院総合医学会においてベストポスター賞を受賞しましたので、報告致します。今回、私たちは「乳がん術後のバストバンド装着に関する実験的研究」という演題で発表しました。

当院では乳がん術後の患者に対し、圧迫止血の目的でバストバンドの装着をしています。しかし、バストバンドの圧迫圧に関する明確な指標や先行研究はなく、看護師間でも統一されていないため、効果的な圧迫圧でバストバンドの装着ができていない可能性が考えられました。そこで今回は、シミュレーターと体圧測定器パームQを用いて、医師が定める「適正な圧迫圧」と看護師の実際の圧迫圧の違いを明らかにし、更に適正な圧迫圧で装着する練習の効果を明らかにすることを目的に研究に取り組みました。

結果、看護師のバストバンド装着方法や圧迫圧は統一されていない現状が明らかになりました。一方、練習後の看護師のバストバンド装着時の圧迫圧は、適切な圧迫圧に近づいており、装着に関する自信も向上したことから、パームQを用いた練習が効果的であることが示唆されました。パームQは患者への侵襲もないため、バストバンド装着時の圧迫圧測定や技術練習に役立つことが期待されます。

今回の研究では、シミュレーターを使用して研究を行っており、実際の患者の圧迫圧を測定するには至っていません。今回設定した圧迫圧も患者に適応した場合、合併症の発症にどのような影響を与えるのか検証できておらず、まだ課題が多く残ります。今後も、研究結果をスタッフ教育に活かし、より良い看護を提供できるよう励みたいと思います。また、研究を通して日々の看護における疑問や気づきを取り上げ、研究に取り組む大切さを学ぶことができました。

今回、初めての学会発表ということもあり、とても緊張しました。看護研究、ポスター作成を行うにあたってスタッフの皆様にご協力、ご指導いただき、このような賞を頂いたと思います。本当にありがとうございました。



国立病院総合医学会 参加報告

8 東病棟 小崎愛美

この度、第77回国立病院総合医学会においてベストポスター賞を受賞しましたので、報告します。今回はメンタルヘルス・ハラスメント対策のセッションで「COVID-19 患者の対応を行う病棟看護師のストレスに関する研究～社会的感染症に焦点を当てて～」という演題で発表しました。

私の所属する呼吸器内科・総合診療科病棟では、感染流行当初からCOVID-19 患者の受け入れを行っています。先行研究において、COVID-19患者の対応を行う看護師は自分や家族が感染する恐怖、N95 マスク・防護服の着用での看護実践に関して身体的・精神的疲労を感じていると書かれていました。今回、嫌悪・差別・偏見といった社会的感染症から生じるストレスの現状と対策を把握する必要があると考え、看護研究を行いました。

今回の研究では、病棟看護師のストレスや思いを抽出するために、6名の病棟看護師に対してフォーカスグループインタビューを行いました。インタビューだけでなく、逐語録の作成やコード化・カテゴリー化な

ど初めての経験であり、大学の先生や病棟師長の指導のもと分析・考察を進めることができました。また、ポスター作成と学会発表も初めての経験であり、内容のまとめ方やレイアウトなどわからないことも多く苦戦しましたが、病棟スタッフや先生方に意見を頂きながら、見やすく伝わりやすいポスターに仕上げることができました。発表当日は緊張しましたが、現場の声や思いを多くの方に伝えることができたため、病棟スタッフの皆様のおかげでポスター賞を受賞できたと思います。

今回研究を進めるにあたりご指導いただいた大学の先生、業務が多忙の中ご協力していただいた病棟師長さん、病棟スタッフの皆様、本当にありがとうございました。



ベストポスター賞を受賞して

教育研修部 武藤潤

この度、国立病院総合医学会にてベストポスター賞を受賞しましたので報告します。今回、私は総合内科・総合診療のセッションで【ヘルペス性歯肉口内炎の診断で加療し一時軽快の後、梅毒と診断された若年女性の一例】というテーマで発表しました。

近年本邦で増加している梅毒感染症は多彩な症状を有し、時に他疾患との鑑別が困難な場合があります。本症例ではその多彩な症状故に一度他疾患と診断された後、改めて梅毒と診断された一例であり、梅毒の症状や検査の特徴を知って丁寧な診察を行う必要があると学ぶ事ができた症例でした。

今回、私自身初の学会参加であり、右も左も分からない状態でのスタートでしたが、指導医の先生方が症例の検索からポスター完成まで一から丁寧に指導下さり無事本番の発表までできる限りの準備をして臨む事ができました。会場での発表の際はかなり緊張しましたが、発表直前まで当院の先生方や同期の研修医に声かけして頂き、緊張しながらも自信をもって発表する事ができました。そのような周りの方々の支えのおかげでベストポスター賞を受賞でき、本当に嬉しく思いました。

また、自身の発表だけでなく、当院同期研修医をはじめ他者の発表を聞くことで多くの学びを得る事ができ非常に充実した二日間になりました。来年度の総合医学会に向けてより成長した姿で発表できるよう日々精進していきます。



最後になりますが、今回の発表に関してご指導頂いた総合診療科の先生方をはじめとした多くの先生方や教育研修部の皆様、本当にありがとうございました。

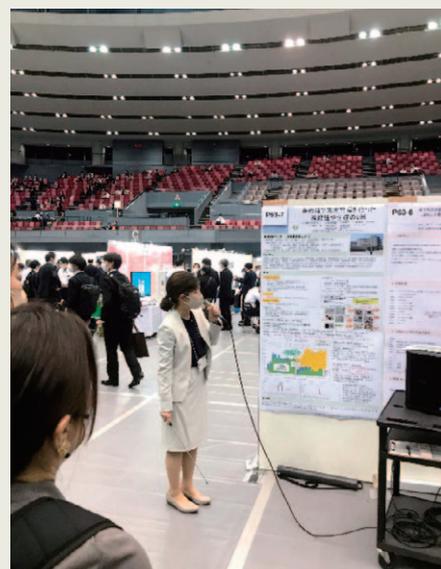
ベストポスター賞を受賞して

栄養管理室 主任栄養士 林田千里

第77回国立病院総合医学会において「多職種で栄養管理を行った神経性やせ症の1例」の演題でポスター発表を行い、ベストポスター賞を受賞することができました。

神経性やせ症は急性期病院の管理栄養士としては1年に1度経験するかしないかの症例であり、栄養管理に難渋した経験を報告しました。今回の症例は、主治医から神経性やせ症の患児が入院する連絡をいただき、入院初日から食事調整を行い、食事や体重の増減に対する意識を確認することができました。食事や輸液が始まると体重は増加、多職種で適宜対応を行いました。栄養士としての介入は4食種(ハーフ食、リッチテイスト食、ライトテイスト食、軟菜食(副食半量指示))の献立表を配布し希望にそって食事内容を指示エネルギーに合わせて調整。栄養剤の紹介、必要エネルギーや現在の年齢に対して必要な栄養素などについて説明、家族への栄養指導などがありました。順調に食事摂取量が増加し必要栄養量を満たせたと思いましたが、患児は浮腫や便秘が続き自力で立てなくなり、食べたはずの栄養量がとても吸収されているようには感じられませんでした。医師・看護師より患児へ確認したところ、食事をゴミ箱に捨てていることがわかり、その後は経管栄養+輸液+食事の管理となりました。看護師や心理士に「これを食べて太らない?」「これを飲んで太らない?」と何度も確認しながら食事をしていました。食事を食べて体重が増える恐怖はあるものの、栄養士が訪問するといつも笑顔で「食事を選ぶのは楽しい」と話してくれました。退院時には輸液は終了できましたが経管栄養は継続のまま精神科病院へ転院となりました。

たまたまですが、学会1週間ほど前に患児が元気になった姿で家族と病院に遊びに来てくれました。とても安心した気持ちで発表に臨めました。この場をお借りして本演題の発表に関わってくださった皆様へ感謝を申し上げます。



71回生の『誓いの式』を挙りました

71回生1年生代表 田代晃太



令和5年11月17日(金)、「誓いの式」を挙りました。

71回生が思う「チーム」とは何か、またそこには誰が含まれるのか、どのような看護が必要であるかについて考えました。それぞれが目指す看護師像へ向け、そのために必要となる考え、思いを繋いでいき、71回生の誓いの詞として決意表明をしました。これまでの、そしてこれからの学びを忘れずに皆様そして自分自身に誓った看護師となれるよう勉学に励んでいきたいと改めて感じる式になりました。



ナイチンゲール像から一人ひとり灯を受け取りました。ナイチンゲールは、クリミア戦争の野戦病院で、夜もランプを持って傷病兵を励まし看護にあたっていました。キャンドルサービスはこのことにちなんで、看護の初心と志を忘れないために行われています。



先輩方から、お祝いのお花束を頂きました。学生同士、これからも助け合って自分たちの目指す看護師へとになれるように精進していきます。

第54回 嬉看祭を開催しました

嬉看祭実行委員 2年生 樋口眞子

令和5年度10月7日(土)に、第54回嬉看祭を開催しました。今年は、「彩(いろどり)」というテーマのもと、ソルティスポーツフェスティバルや学生ステージ、フリーマーケット、ビンゴ大会などを行いました。

ソルティスポーツフェスティバルとは、2年生が1年次の地域・在宅看護論の講義内で考案した企画で、小さな子どもから大人まで、障がいのある方もない方も誰もが楽しく参加でき、交流できる機会を作ることが目的としたものです。オープンキャンパスに参加していた高校生や保護者の方、地域の子どもの大人の方まで幅広い年代の方に楽しんでいただくことができました。

他にも中庭に設置した遊びの広場で、子どもたちがスーパーボールすくいやヨーヨー釣りを楽しんでいる様子や、キッチンカーで購入したご飯やスイーツを食べながら学生によるステージやビンゴ大会を楽しまれている様子が見られました。

学生全員で協力しながら準備を進め、当日は各自担当ブースで役割を果たしながらも楽しい1日を過ごすことができ、彩を感じる1日になったと嬉しく思っています。



ソルティスポーツフェスティバル



遊びの広場



フリーマーケット

第2回 オープンキャンパスを開催しました

オープンキャンパス実行委員 2年生 弘島かれん

嬉看祭と同時開催したオープンキャンパスでは、「未来～踏み出そう！看護の一步を嬉野から～」というテーマのもと、看護技術体験やパソコンやタブレットでのテキストの紹介、学生との交流会、教員・学生との進路相談、動画を活用した学校・寮紹介の企画を通して、多くの高校生や地域の方々に本校の魅力や看護について伝えることができました。

参加された方々に楽しみながら看護について知っていただき、高校生が本校で看護を学びたいと看護の道へ一歩踏み出すきっかけになれたと思います。



看護技術体験



教材紹介



進路相談

嬉野医療センター 外来診療担当医表

▶▶ 紹介状・予約が必要です ◀◀

2024.1.1～

区 分	月	火	水	木	金
総合診療科	午前 黒木 牧尾	牧尾 中島	黒木	牧尾	黒木 中島
呼吸器内科	午前 佐々木 中富	小宮 高尾	佐々木(再診) 中富	佐々木 小宮	中富 小宮
消化器内科	午前 木村(肝臓) 山口(消化管) 田中(消化管)	有尾(肝臓) 綱田(消化管) 日野(肝臓・胆嚢・膵臓) 榎藤(消化管)	日野(肝臓・胆嚢・膵臓) 深水(消化管) 野村(消化管)	綱田(消化管) 有尾(肝臓) 山口(消化管)	木村(肝臓) 田中(消化管) 深水(消化管)
循環器内科	午前 合力 田栗	下村 井上	合力 不整脈外来(再診) 新里(毎週水曜日) (大学応援医師)	下村 嘉村・乗田 (ペースメーカー)	井上
心臓血管外科	午前	高松 古賀			高松 古賀
糖尿病内分泌内科	午前 井上(新患) 高木	徳満(再診)	徳満(新患) 井上(再診)	徳満(再診)	井上(再診) 大学応援医師(再診)
リウマチ科・内科	午前 庄村	西畑	荒武	荒武	庄村 西畑
神経内科	午前 小杉(新患) 平原(再診)		小杉 平原		小杉(再診) 堤(新患)
腎臓内科	午前 野中	中島 深村	末永 中島	野中 末永	野中
小児科	午前 大串 初診：当番医	森田 初診：当番医	吉浦 初診：当番医	一ノ瀬 初診：当番医	浦島 初診：当番医
	午後 小児腎臓外来 小児アレルギー外来	乳児健診 予防接種外来 小児アレルギー外来 食物アレルギー負荷試験	小児循環器外来	小児アレルギー外来 小児神経外来 食物アレルギー負荷試験	小児代謝・内分泌外来 小児アレルギー外来
呼吸器・乳腺外科	午前 近藤 浦川	近藤 浦川			
	午後 近藤 浦川				
消化器外科	午前		黨 内田	小山	森山
整形外科	午前 村田 中山 山口	古市(再診) 小河 寺本	古市 村田 山口	小河 寺本 中山	古市 村田 中山
脳神経外科	午前 土持	宮園		宮園 宮崎(再診)	土持
皮膚科	午前 柳瀬 西島	柳瀬 西島	柳瀬 西島	柳瀬 西島	柳瀬 西島
形成外科	午前 猪狩(非常勤医師)				
泌尿器科	午前 林田(新患) 上田(再診) 大木(再診)	林田(再診) 上田(新患) 大木(再診)		林田(再診) 上田(新患) 大木(再診)	林田(再診) 上田(再診) 大木(新患)
	午後			予約外来	
婦人科	午前 一瀬	中島		阿部	宮下
産科	午前 阿部	宮下	助産師外来(9時～16時)	宮下	阿部
	午後 母乳外来(14時～16時)	助産師外来(14時～16時)		母乳外来(14時～16時)	助産師外来(14時～16時)
眼科	午前 岩切 山下		岩切 山下		岩切 山下
	午後 岩切(再診) 山下(再診)		岩切(再診) 山下(再診)		岩切(再診) 山下(再診)
耳鼻咽喉科	午前 吉見 松本	吉見 松本	耳鼻科外来(新患)	吉見 松本	吉見 松本
	午後		吉見 松本		
放射線科	午前・午後 診療	午前・午後 診療	午前・午後 診療	午前・午後 診療	午前・午後 診療
術前診察		午前診療			午前診療
緩和ケア	午前診療	午前診療	午前診療	午前診療	午前診療
ペインクリニック	午前 香月	香月			香月
入院評価		午後診療		午後診療	
救急科 (8:30～17:15)	藤原 山田 小野原 小牧	藤原 山田 小野原 小牧	藤原 山田 小野原 小牧	藤原 山田 小野原 小牧	藤原 山田 小野原 小牧
歯科口腔外科	午前 井原 森	井原 森	井原 森	井原 森	井原 森
	午後	井原 森(再診)			井原 森(再診)